

2025年日本国際博覧会 警備・防災基本計画策定支援業務 事業者選定結果について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり最優秀提案事業者（契約候補者）を選定しましたので、お知らせします。

1. 審査手法

事業者（2者）から提案のあった内容について、3名の評価委員による審査を行い、契約候補者を選定いたしました。なお審査にあたっては、令和4年8月4日（木曜日）より企画提案書の書類審査（質疑応答書による質疑含む）を開始し、8月23日（火曜日）にオンラインによる評価委員会を実施し、評価委員による採点（100点満点）により決定しました。

2. 審査結果

(1) 最優秀提案事業者（契約候補者）

総合警備保障株式会社・SOMPO リスクマネジメント株式会社共同企業体

評価点 86点（提案金額 税込 11,517,000円）

(2) 次点提案事業者

凸版印刷株式会社・TSP 太陽株式会社共同企業体

3. 最優秀提案事業者の選定理由（講評）

- 大規模な国際イベントでの警備・防災計画に関する実績が認められ、行政機関との連携も十分に意識されている。
- 警備に関する独自提案はじめ、実績を踏まえた新システムの提案や、行政機関の防災計画等を踏まえた提案がなされている。
- 過去の経験を活かし、SDGsの観点やジェンダーなどの多様性に配慮した提案になっている等、具体的な対応が期待できる。
- 企業協賛の活用も含め、コストの縮減に配慮した提案がなされている。

4. 選定委員会委員（50音順・敬称略）

氏名	所属・役職	選定理由
池 信儀	大阪府・大阪市 万博推進局 整備調整部 整備企画課 課長	行政において、会開催に向けた協議等に携わり、警備・防災全般に携わっている立場から審査いただくため。
多々納 裕一	京都大学防災研究所 社会防災研究部門 防災社会システム研究分野 教授	防災及びリスクマネジメント分野の豊富な知見から審査いただくため。
檜山 洋子	ヒヤマ・クボタ法律事務所 弁護士	法律の専門家の立場から、提案内容の適格性・妥当性を審査いただくため。

以上